

国公立医科大学長  
国公立大学医学部長 殿  
各関係機関の長

山形大学大学院医学系研究科長  
上野 義之  
(公印省略)

麻醉科学講座担当教授候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、麻醉科学講座担当教授の令和5年3月31日付け定年退職に伴い、後任の教授候補者を公募することとなりました。

ついては、貴機関又は関係機関において、麻醉科学を専門とし、周術期管理、集中治療において診療・教育・研究を担当可能な適任の方がおられましたら、下記により御推薦くださいますようお願い申し上げます。また本学では、救急医学講座と連携して救急医学の卒前卒後教育を担当していただきます。

おって、候補者の方には選考の過程で御来学若しくはweb上で、面談及び御講演いただく場合がありますので、あらかじめ御承知おき願います。

謹言

記

- 1 職種及び人員 教授 1人
- 2 所属 大学院医学系研究科医学専攻麻醉科学講座
- 3 採用予定年月日 令和5年7月1日以降、可能な限り早い日
- 4 担当授業科目  
学部担当科目：全身性疾患額（加齢・死・環境）、基本診療学（麻醉）  
（詳細 <https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2022/home.htm>）  
大学院担当科目：麻醉科学、ペインクリニック、麻醉救急  
（詳細 [https://www.id.yamagata-u.ac.jp/daigakuin/pdf\\_nyushi/2022syllabus-igaku.pdf](https://www.id.yamagata-u.ac.jp/daigakuin/pdf_nyushi/2022syllabus-igaku.pdf)）
- 5 応募資格：以下の全てに該当する者
  - (1) 医師免許所有者
  - (2) 大学または大学に準ずる機関において麻醉科学の臨床・教育・研究経験を持ち、博士の学位を有する者
  - (3) 麻醉科学について広い知識と経験を有し、情熱を持って学部および大学院における教育および研究指導ができる者
- 6 待遇等  
採用時にテニユア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニユア取得となります。  
採用時審査で不可となった場合は、テニユアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニユア審査が行われ、可とされた場合にはテニユアが付与されます。  
※本学のテニユアトラック制度については、下記をご参照ください。  
<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>  
<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/recruit/>
  - (1) 給与  
国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制。  
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金），雇用保険，労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

以下の提出書類全てについて，紙媒体及び電子ファイル（電子ファイルの種類は以下に明記されたもの）を各1部提出お願いします。

- (1) 推薦書（A4判・縦型，様式任意，PDFファイル）
- (2) 履歴書（様式1，Wordファイル）
- (3) 業績目録（様式2，Excelファイル）
- (4) 公募による研究費受領状況一覧（様式3，Excelファイル）
- (5) 診療・研究の概要と今後の展望  
（A4判・縦型，2,400字以内，様式任意，PDFファイル）
- (6) 医学教育に対する取組みと抱負  
（A4判・縦型，1,200字以内，様式任意，PDFファイル）
- (7) 主要論文別刷（20編以内，PDFファイル）

9 公募締切日 令和5年3月31日（金）必着

10 面接及びプレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先 〒990-9585  
山形市飯田西二丁目2-2  
山形大学大学院医学系研究科長宛  
（封書には「麻醉学講座教授公募書類在中」と朱書のこと。）

12 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当（人事）  
TEL 023-628-5005  
FAX 023-628-5019  
メールアドレス yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

13 その他

山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と，ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には，小白川キャンパス保育所，医学部保育所・病児保育室など，各キャンパスに保育支援制度があり，子育て支援が充実しています。

また，ダイバーシティ研究環境実現のために，研究継続支援員制度，学会参加時の保育支援制度はじめ，女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については，下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>



氏名:

[原著]

Table with 5 columns: Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank. Contains 3 entries for Yamagata T, Beniya H, Sagae M.

[症例報告]

Table with 5 columns: Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank. Contains 1 entry for Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Yonezawa E.

[総説]

Table with 5 columns: Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank. Contains 1 entry for Yamagata T, Beniya H, Sagae M.

[国際学会のProceeding]

Table with 5 columns: Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank. Contains 1 entry for Beniya H, Yonezawa E, Sagae M, Yamagata T.

[著書]

Table with 4 columns: Author, Title, Book Name (Page Year), Publisher. Contains 2 entries for Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S and Yamagata T.

[学会発表]

Table with 3 columns: Author, Title, Conference Name (Location Year). Contains 2 entries for Yamagata T, Higashino O, Sagae M and Yamagata T.

記入要領 (様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会のProceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。
2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代の新しいものから順に記載してください。
3 具体的記載について
(1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会のProceedingについては, 原則として記載例にならってください。
(2) 学会発表については, 全国規模の国内学会 (地方会・支部会除く) での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限りま。

記載例

公募による研究費受領状況

(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名	金 額 (千円)
2020	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (代)	△△△△に関する研究	
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究	
2017	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分)	□□□□に関する研究	
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究	
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究	